

【他の治療方法の有無及び内容、その治療における効果及び危険性の比較】

① リハビリ

【内容】 リハビリテーション専門医・リハビリテーション看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士・臨床心理士・義肢装具士・臨床工学技士・柔道整復師・ソーシャルワーカーなど多数の専門職の協業によって行われる病気や外傷が原因で心・身の機能と構造の障害と生活上の支障が生じたときに、個人とその人が生活する環境を対象に、多数専門職種が連携して問題の解決を支援する総合的アプローチ。

【効果および危険性】 危険性はほとんどなく、神経変性疾患の治療としては、まずは第一の治療方法である。神経変性疾患再生医療は単体で効果を発するものとは考えておらず、必ずリハビリが必要である。

② 薬物療法

それぞれの病気に対して症状軽減を目的とした薬による治療法がある。神経変性疾患は原因不明であるため、今のところ根本治療を行う薬は存在しておらず、本治療を行うにあたって薬物治療は並行して継続すべき治療であると考ええる。